

KIDS SMILE LABO JOURNAL

“キッズ スマイル ラボ ジャーナル”

KIDS SMILE LABO が発行するフリーペーパー。普段 SNS でしか見られない保育園の子どもたちの様子や、子育てに関する情報等、最新情報をお届けします。

Vol.45
2025
MARCH
TAKE FREE



KIDS SMILE LABO の 1 枚。

副園長の森誉さんが選んだ、とっておきの 1 枚を紹介します！

“春待つあなた”

桜の枝の向こう側
空の色を映すように
あなたの瞳は静かに光る

やわらかな風が頬をなで
淡いピンクが揺れるたび
胸の奥でなにかが芽吹く

何を想っているのだろう
未来のこと？ それとも今？
小さな肩に春がそっと降りる

花開く時を知るように
あなたもきっと知っている
この季節がくれる温かな予感

photo & text by morimori

JOURNAL TOPIC

- 01 1 年を振り返って
今年度も早いもので、1 年を振り返る時期となりました。
- 02 KIDS SMILE LABO CLASS NEWS
3 月の子どもたちの様子をピックアップ！
- 03 卒園式「やってみたいをカタチに」
第 4 回の卒園式が行われました。

kidssmilelabo.com

@kidssmilelabo

KIDS SMILE LABO

@kidssmilelabo

@KIDS_SMILE_LABO



2024年度を振り返って

2021年に開園して、嬉しいことに毎年子どもたちが仲間入りし、彩られてきた KIDS SMILE LABO。今年度は幼児クラスでお蚕さんの飼育があったり、2歳児以上の『調理の日』ができたりと、各クラス新しい活動や流れがあるのですが、その一方で、毎年恒例の流れや LABO の積み重ねから生まれた4年間の小さな歴史を感じる瞬間が多かったように思います。この小さな歴史は、今まで過ごしてきた子どもたちと、私たちの保育へのご理解ご協力をいただいた保護者の皆さま、そして活動の度に振り返りをしてより良い保育を目指してきた保育者によって作られてきたものです。今年度も「やってみたいをカタチに」をテーマに歩んできた、子どもたちの活動や、子どもたちの暮らしの日々と共に LABO の歴史の1ページが幕を閉じます。来年度から始まる新しい LABO の歴史の1ページも、LABO らしく華やかに彩られていくことと思います。今年度もたくさんのご協力をいただき誠にありがとうございました。

文 かおちゃん



今年度はどんな一年だったかなと、撮った写真を見返してみました。文章を書こうと思っていたのに、ついじっくり見入ってしまう——そこには、子どもたちの素敵な表情がたくさん詰まっていました。笑顔、友だちとのやりとり、真剣な顔、時には涙——季節の移ろいとともに変化する表情から、子どもたちにとっての一日一日の大切さを改めて感じます。日々の出会いや出来事、感情を吸収しながら自分を築いていく子どもたち。その生きる力には、神秘的なもののさえ感じます。

そんな子どもたちの「いい顔」に出会うためには、やはり「人」の存在が欠かせません。保育園は、子どもたちにとって初めての集団生活の場であり、社会への第一歩。その中で出会う人たちとの関わりが、日々の成長を支えています。ラボで子どもたちの日常を温かく紡ぐ保育者、そしてそれぞれの個性を伸ばしながら成長していく子どもたちに、心から「ありがとう」と伝えたいです。

保護者の皆さまも、お仕事をしながらの子育ては大変なこともあると思います。それでも、ラボで過ごすお子さんの姿をそのまま受け止め、見守ってくださり、本当にありがとうございます。

4月からまた新しい一年が始まります。環境の変化に戸惑ったり、さまざまな姿を見せたりすることもあるかもしれませんが、「今日も楽しかったね!」と笑顔で言える日がたくさん訪れるように、子どもたちと一緒に過ごしていけたらと思っています。

文 もりもり



KIDS SMILE LABO KITCHEN

KIDS SMILE LABO KITCHEN

保育園KIDS SMILE LABOで毎日子どもたちに提供している給食は厚木で育った旬の野菜、無添加調味料を使用して安心安全に、そして見て美しい食べて美味しい給食を2343FOODLABO監修のもと、調理をしています。



【調理チームの活動内容】

私たちは、毎日の給食づくりや調理実習を中心に活動しています。

今年度は月に1度『調理の日』を設け、2歳児クラスではおにぎり作り、マヨネーズ作り、幼児クラスでは体を温める食材を使ったお味噌汁作りや、だしをテーマにした食育を行いました。

また、『キッズスマイルラボキッチン』のポップアップストアを出店できたことも大きな出来事となりました。LABOに通うご家族が来店して下さったことはとても嬉しく、私たちの励みになりました。さらに、地域の保育や給食に携わる方々と意見交換をする貴重な機会にもなり、多くの学びを得ることができました。

その際に、LABOで人気のメニューを掲載したレシピ本も作成しました。後日、園内にも置かせていただきますので、ぜひお手に取ってみてください。

【子どもの1年の成長】

今年度は暑い夏も食欲が大きく落ちる事がなく、活動量に比例して日に日に食欲が上がってきたように思います。

LABOの給食には「見て美味しい、食べても美味しい」というコンセプトがあることをご存知でしょうか。子どもたちは配膳された給食を見て、「美味しそう」「早く食べたい」と思わず声に出していたり、ただでさえ料理の名前が分かったりもします。実際に食べて、どんな調味料や食材が入っているの分かる子もたくさんいます。そんな子どもたちの様子を見るとLABOの給食のコンセプトに近づいてきていると感じ、本当に喜ばしく思います。また今年度から始まった調理の日。苦手な食材を食べることができるようになったり、ご家庭で保護者の方と実際にご飯を作ってみたり、配膳を手伝ってくれたり、子どもたちの食に対する意識が高まった1年でした。ご家庭でも、調理に触れる時間を持っていたただけることに、感謝の気持ちでいっぱいです。

文 やっちゃん



from MINAMO OZORA DAICHI <3・4・5歳児>

みなそらだいちさんで行く、最後の遠足

準備編

お別れ遠足の行き先はズーラシア。
 まずは園内マップを室内に掲示し、どの動物が見たいかを一人ひとり発表をしました。
 見たい動物のエリアが近い子同士でチームを2つに編成し、そこからグループでの話し合いが始まりました。
 1回目の作戦会議では初めに子どもたちが発表した1番見たい動物の他にも幾つか挙げて、マップに印をつけていきます。その後どうやって園内を回っていくかを話し合いました。「ここはじっくりみたい」「ここはちかみつかえそうだね」と全員の意見を汲み取りながら、試行錯誤。チーム名を決めるのは少々苦労したようですが…全員の思いを詰め込んだ、“どうぶつチーム”と“たんけんチーム”に決定しました。
 2回目の作戦会議では実際に動物の写真や動画を観てイメージを膨らませていきます。「このチンパンジー、よくみるとかおかわいい！はやくほんもの、みてみたい！」と期待感も高まっていました。

当日編

そしていよいよ遠足当日。この日が来るのをずっと楽しみにしていたみなそらだいちさん。まずは「ぞうさんだね」とマップを見ながら進んでいきます。「あ！つぎは〇〇ちゃんのたのしみにしてたレッサーパンダだよ！」など他の子の見たい動物が頭に入っている子どもたちには驚きました。2チームそれぞれカラーがあって、ゆっくりじっくり見たいどうぶつチームさんと、どんどん先に！色々な動物を見たいたんけんたいチームさん。だいちさん中心にチーム団結して行動する姿に1年間の積み重ねを感じました。またひとつ、子どもたちの心に残る大切な思い出になりました。

文 ゆりゆり



作戦会議！！



『インドゾウ』



動物の手や足の大きさの展示や
 大うんち展が開催されていました！



『スマトラトラ』



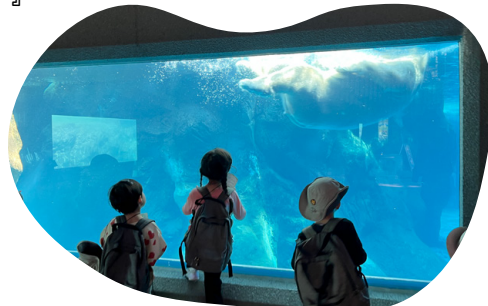
『マレーバク』

たんけんちーむ



どうぶつちーむ

バスの運転手さんひろくんも
 一緒に回ってくれました！



『ホッキョクグマ』



おうちのひとが握ってくれたおにぎり
 おいしいわ〜♡



念願のモルモット！

無事整理券をゲットして入場することができました。



たくさん歩いて、疲れたね。
 みんなバスに乗ってすぐに眠りの世界へ…



みなもクラスからおしらせ

ひなかくん・ぜんたろうくんが
 3月末で退園いたします。
 新しい場所でも、元気に過ごしてね！
 また遊びに来てくれるのを待っています。

あつという間にという言葉が勿体無いくらい、濃厚な日々が積み重なり、1年間が作られていきました。
 今年度17名のみなも、おおそら、だいちさんと、毎日を積み重ねて1年間を過ごせたことはとても喜ばしく思います。新年度が始まった頃の姿からは、想像もできないくらい、逞しく、自由に、繋がりを持って過ごすみなそらだいちさん。ここまでの道標を辿ると、子どもたち一人ひとりの持っている力が、より色濃くなり、それぞれを刺激し合い、成長していったように感じます。
 来年度も子どもたちが伸び伸びと、自分らしさを大事に、その子らしく大きく育っていけるように努めてまいりますので、何卒よろしく願いいたします。

れいじくん



いよいよ進級、進学がやってきましたね。
 この1年を振り返ってみて、この場所でどんなことができるか、子どもたちと共に考え、やりたいことにまっすぐ向き合うことのできた日々だったと思います。泥々になったり、絵の具だらけになったりする時は全力で。話し合いをする時には真剣に。みんなでひとつのことを成し遂げる時には力を合わせて。嬉しい時も悲しい時も一緒に乗り越えてきた仲間。共に支え合い、育ち合い、進級・進学の日を迎えられることを嬉しく感じます。ドキドキワクワクした気持ちは大切に、新たな環境でも何事も100%で向き合っていけたらと思います。1年間ありがとうございました。

ゆりゆり



from NOBANA 〈2 歳児〉

大きな魚との出会いをはじまりに

毎日行く河原で今までとは違う楽しさ面白さに出会った、2月後半～3月。

1日目。

ふと川を覗いてみると大きな魚発見。今まで小魚やエビは沢山見つけてきたこの場所で、こんな大きな魚を見つけたのは初めて。子どもたちの中には「これは、サメだ！」と言う子も居ました。

これは間近で観察したい！と大人が必死に捕まえバケツに入れると、子どもたちはぐっと覗き込み、魚との対面を果たしました。帰園後も興奮冷めやまない様子で、道ゆく大人やお迎えに来た親御さんに話す姿が見られました。

2日目。

対岸に渡るための橋造りをみんなで行いました。

エッサエッサと繰り返し大きな石を運び、繋がった1本の橋。長さにすると4mくらいです。

川に落ちないように、大きな石を選んで足を進めてみたり、丸太のゾーンはギュッとしがみついて進んでみたりと、絶対に落ちまいと慎重に渡っていました。

辿り着いた対岸には大きなテトラポットがあり、大人と一緒に登ったり、上階へ続く坂道を四つん這いになり登り、眺めのいい場所に座って一休みしてみたり。もう少し遊びたいという気持ちを感じつつ、この日は時間がきて帰園することになりました。

3日目。

雨が続いた後に訪れると、橋が途中から崩れていました。そこで、再建設をしていきました。

すっかりこの場所を『自分たちの遊び場』として捉えている子どもたちは、探検ごっこをしたり、テトラポットに登るスリルさを楽しみながら遊んでいました。

4日目。

季節は進み、河原に沢山の菜の花が咲き始めていました。

小魚やエビも見つけ、クラスで飼っているエビズと色が違うことに気がつきました。遠くには黒くて大きな鳥「カワウ」を発見し、羽を広げる姿のカッコ良さに惹かれる子どもたちでした。

5日目。

気温があがり、川の浅瀬に入ってみることにしました。

それから川の水を汲み、階段に流してみると、コンクリートの色が変わりました。その様子を「きれいになった！」と捉えた子どもたちは「お掃除だ！お掃除しよう！」と水汲みが始まりました。

「♪えっさ、えっさ～」とオリジナルソングを口ずさみながら何度も繰り返し運ぶことを楽しんでいました。

いつも行く同じ場所でも、自然ならではの毎回違う情景に出会え、沢山のワクワクを届けてくれるこの場所。この後もまだ、新たな出会いがありそうなこの場所は、今ののばなさんのホットスポットとなっています。

文 あづあづ

川の中にはエビや小魚がいっぱい！
網や容器を持って
みんなで捕まえたよ。



ぼくたち、わたしたちの
お気に入りのスポット！



高いところみつけたっ！
遠くまで見えるわ！



川におっこちないように
四つん這いになって進むよ



橋を渡ってみると
テトラポットを発見！



『カワウ』
羽をばさばさ広げて
とてもカッコよかった！



春の訪れ
菜の花やあざさき色の花を
見つけたよ。



アート活動では一緒に創造力を上げて手を動かし、調理活動では、料理が完成すると、一緒にテーブルを囲み、完成した喜びを分かち合いました。

新しいことに挑戦する度、子どもたちの好奇心と真っ直ぐなパワーに、私自身もたくさんの元気と刺激をもらいました。

どんな時も全力で楽しみ、夢中になれるその姿に、何度心を動かされたかわかりません。

また、至らない点も多々あったかと思いますが、温かく見守り、ご理解ご協力して下さった保護者の皆様、ありがとうございます。

子どもたちのこれからの成長も見守っています！

みーちゃん



子どもも大人も「やってみたい！」が溢れた、今年ののばなクラス。1年を通して、本当に沢山の新しい経験をしてきました。

楽しい！最高！の言葉が飛び交い、そこにはいつも笑顔が溢れていました。

またお喋りが上手になった子どもたちとの散歩の道中や、食事時の会話はとても愛おしい時間で、「ねえね、あづあづ～」と夢中で話しかけてくれるのが可愛くてたまりませんでした。

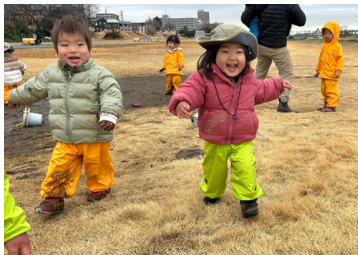
至らない点多かったかと思いますが、保護者のみなさまにはいつもあたたかく見守っていただき、感謝しております。

背丈も表情も、もうすっかりお兄さんお姉さんですね。ここからの3年間でより一層楽しいラボ生活をどうぞお楽しみに。

あづあづ



from KOMOREBI 〈0歳児〉



水たまりって楽しいな

暖かい小雨の日。レインウェアを着て広場に出かけました。

砂利道に大きな水たまりを発見。早く早く！と待ちきれない様子の子どもたちを順番にバギーから降ろすと、すぐに水たまりに入り足踏みをしては楽しそうな声をあげて遊び始めました。しゃがんで泥をすくっては落として楽しんでいる子、泥の入ったバケツを持ち上げて「重い～」と言いながら運んで歩いている子。

いくつもある水たまりを渡り歩き、ジャンプしたり、すり足で歩いてみたり、水の音、靴に染み入る水の感触、友達と一緒に水たまりに入る楽しさを味わう様子もみられました。

その日、初めて水たまりで遊ぶ子もいました。抱っこから降りてじっとみんなの様子を伺っていましたが、ハイハイで水たまりまでやってくと手を伸ばし、水の中に手を沈めました。その瞬間、水が跳ねたことがキッカケとなり、何度も掌で水面を叩いて遊び、帰るころにはハイハイで水たまりを縦断するほど全身で楽しんでいました。

翌日も散歩に行くと昨夜の雨で、更に大きな水たまりが出来ていました。

昨日の続きだ！と言わんばかりにパツと走り出すと、たどり着いた先に待っていたのは大きな大きな水たまりでした。目をキラリと光らせて、一人がそろりそろりと降りていくと、みんなも続きます。

水たまりの傍にある斜面から降りる勢いのまま入るのが楽しくて、何度も行ったり来たりして、遊んでいました。

来月はいよいよ進級です。遊びの中で様々なことを体験し吸収して、心も身体も大きく成長した一年間。

ダイナミックな遊びにも興味が広がり、仲間意識も芽生え始めた子どもたちのこれからの成長が益々楽しみです。

文 ふくちゃん

入園したころの写真を見返すと、お家の人と離れるのが嫌で泣いている表情も多くあり、顔立ちも赤ちゃんでふっくらとかわいらしく小さかったみんな。今では登園するとニコニコしながらお部屋に入ってきて、友だちの顔を見て名前を呼び合ったり、私たちの名前を呼んでくれるようになりました。戸外に出て自然の中で水遊びをしたり、スコップとバケツを持って毎日のように土を掘って遊びました。玩具の取り合いも激しくなってきた今日この頃ではありますが、それも健やかに成長している証だと思っています。子どもたちの成長を保護者の皆様と共に喜び分かち合えたことは本当に嬉しく、楽しい日々でした。至らない点多々あったと思いますが、温かく見守ってくださったこと、感謝致します。ありがとうございました。

ふくちゃん



0歳から1歳は本当に成長が大きい1年です。ハイハイから歩けるようになり、ミルクから煮野菜、そして完了食へ。おはなしも少しずつ出来るように。そんな可愛い子ども達の大切で貴重な時期を保護者の皆さまと共に関わらせて頂き、幸せな1年間でした。

泣いたり笑ったり毎日を全力で過ごす子ども達の姿に時に成長を感じ、可愛さに癒され、笑顔の絶えない楽しい時間を過ごさせて頂きました。本当にありがとうございました。

次の1年もどんな成長が見られるか楽しみです！

あやや



写真から蘇る、あの瞬間

4月から毎月撮影してきた集合写真。見返してみると、かわいくてベビーフェイスなそよかぜさん。この1年の成長をしみじみと感じます。

毎日一緒に過ごしていると顔つきや身体がしっかりしてきた事に気がつきにくいですが時折、こうして振り返った時にお兄さんお姉さんの顔になっている事を感じたり、集合写真を撮影をした時の情景が思い浮かんできます。

実は、毎回みんなが正面を向いている集合写真を撮るのにこんな裏話があります。集合写真は子どもたちのご機嫌と大人の気合いの短期集中戦。顔が横や下を向いているのはよくある事です。玩具や地面に落ちている小石や木の枝を拾いたくなって動き出してしまふ…。大人達はカメラを向いて欲しくて、あの手この手で必死に声をかけるのですが逆に気になって、さっとなや私の顔を見てしまったり。上手く撮れた！と思ったら私が目を瞑っていたり…。何度シャッターを切っても上手くいかずその難しさに「また今度にしよう！」と次回チャレンジすることもありました。

連写で撮る集合写真を振り返って見ていると1枚1枚の表情が違い、その時のワンシーンが思いだされてクスツとしてしまいます。

もうすぐ、のぼなさんになる子どもたち。この小さな世界で笑って泣いて、たくさん玩具の取り合いもしたけれど、だいすきな仲間と刺激を与え合い、友だちを思いやる心を育み、これからも一緒に過ごす日々を楽しんでほしいなと願っています。

文 れいちゃん



4月からの1年間、泣いて、笑って、過ごしてきた日々、成長と共に自我も芽生え、イヤイヤしたり、友だちとぶつかり合うこともありましたね。言葉も増え、友だちや保育者とのやり取りを楽しんだり、自分で衣類の着脱を頑張ったり、手を繋いで散歩に出掛けたりとたくさんの経験を重ね、心もからだも大きくなりました。そんな毎日であっという間に駆け抜け3月。

保護者の皆さまと一緒に悩んだこと、子どもたちの成長と一緒に喜んだこと、他愛もないお話で笑ったことなど、大切な時間も共に歩むことができたことを嬉しく感じます。1年間あたたかく見守って下さり、ありがとうございました。

さっどん



1人1人の個性が輝くそよかぜさん。気持ちを言葉にして伝えられるようになってほしいという思いを胸に過ごしてきました。楽しい時は大笑いし、悲しい時、悔しい時はいつも全力で気持ちを出しています。少しずつ言葉で伝えられる様になってきたこの変化は私にとって、とても嬉しい成長でした。

皆様には1年間たくさんのご協力を賜り心から感謝申し上げます。

LABOの子どもたちはもちろん、優しく温かくて、愛情溢れた保護者の皆様の事も大好きです♡本当にありがとうございました。

れいちゃん



KIDS SMILE LABO

第4回 卒園式『やってみたいをカタチに』



今年度の卒園児は4人。「やってみたいをカタチに」をテーマに2024年度、第4回目の卒園式を開催いたしました。このテーマにあるように4人は自分の「やってみたいこと」にどこまで向き合い、じっくり時間をかけて作り込んだ卒園製作を、卒園式で発表してくれました。

遡ること昨年の7月。「ドレスが作りたい!」「運搬車と戦車を作る!」と夏から始まった卒園製作。ドレスは生地を買いに出かけ、自分で裁断するところから始めました。生地を縫い進める過程は簡単ではなく、針で手を刺してしまうことも何度もありました。しかし、そこで心折れることなく、自分の「やってみたい」に向き合い続ける気持ちは、一つのことを最後までやり遂げる経験に繋がり、子どもたちを大きく成長させてくれました。

運搬車と戦車を見つけたのは、図書館で借りた外国の車の図鑑。「これが作りたい!」と目を輝かせている表情は今でも忘れません。土台となる段ボールをグルーガンで組み立て、タイヤは回るように硬いペーパー芯をノコギリで切って長さを調節していきました。他にも廃材をいくつか使用し、本物と同じように、細部にまでこだわり抜いた運搬車と戦車。卒園製作を「楽しい!」と夢中になって取り組む姿からは、好きなことに真っ直ぐ進むことの素晴らしさを、教えてくれているように感じました。

そして迎えた卒園式当日、園に来た卒園児4人が見せてくれた表情は、晴れやかで、自信に満ち溢れているように感じ、今日この日が最高の1日になることを確信しました。発表の時間では、緊張しながらも自分たちの持つ力を精一杯発揮し、それぞれの「やってみたい」を「カタチ」にした子どもたち。ラボで過ごしてきた毎日の積み重ねが集大成となり、4人それぞれの個性は唯一無二の輝きを放っていました。

4月からはそれぞれ新たな道を進んでいきます。式で歌った「たいせつなたからもの」の歌詞のように、ラボで過ごした日々が子どもたちにとって、たいせつなたからもので、たくさんのおもいでとして、心に残ってくれていたら嬉しいです。

文 りゅう



約束の花束

毎年、厚木にある〈約束の花束〉さんに装花をお願いしています。式のテーマである『やってみたいをカタチに』をイメージした今年度の華やかなお花。そこに、約束の花束の店主の想いも乗せて溢れる作品となっています。KIDS SMILE LABO から徒歩5分ほどのお花屋さん。ぜひ足を運んでみて下さいね。

Address

神奈川県厚木市中町3-8-6 ヴァントゥール本厚木1階
yakusoku-no-hanataba.com



ウェルカムボードのベースは、キッズスマイルラボそのものを表現するために、温かみのあるウッドキャンパスを選びました。

緑や木の実で過ごしてきた時間や場所を、シルエットのモチーフは、実際に子どもや大人の笑顔の瞬間を切り取り、歩んできた日々を表しています。

congratulationsのフラッグは、ここから送り出し、そしていつでもこの場所に帰れる様なぬくもりと優しさを演出しています。

これからのみんなの新しい毎日がワクワクキラキラしたものになりますよう、願いを込めて制作させていただきました。

文 りゅう

KSL Graduation Special Lunch BY 2343 FOOD LABO



今までの年長さんが卒園前に訪れていたことを知っていた子どもたちにとって憧れのレストラン、2343FOOD LABO ヘスペシャルランチを食べに行きました。お気に入りの洋服を纏い、早く行きたいとわくわくが止まらない4人。緊張する様子なく、本格的な接客とプロの料理の数々に「これなんだ?」「おいしい!」と賑やかに楽しく食べ進めていきました。2343FOODLABO ではハレの日などのコースのご対応もしておりますので、ぜひご家族でもご利用して下さいね!

2343 FOOD LABO

地元神奈川にて、生産者の顔が見える新鮮な素材を使用し、素材本来の美味しさを活かした調理法でジャンルにとらわれない料理を提供します。心地のよい空間で特別なひとときをお楽しみください!



リクエストスペシャルランチとおやつ BY KIDS SMILE LABO KITCHEN



3月は卒園するだいちさんのリクエストメニューが献立になっていたKIDS SMILE LABO KITCHEN。この日は昼食はフィッシュバーガー、おやつはスペシャルアイスケーキ&お祝いプレートと子どもたちの大好きなものが並びました。毎日おかわりをしてすっかり逞しく育った大地の4人。小学校でも沢山食べて、すくすくと成長していきましょう。

KIDS SMILE LABO KITCHEN

保育園KIDS SMILE LABOで毎日子どもたちに提供している給食は厚木で育った旬の野菜、無添加調味料を使用して安心安全に、そして見て美しい食べて美味しい給食を2343FOODLABO監修のもと、調理をしています。

